# 美馬市都市再生整備計画事業評価委員会

# 議　　事　　録

○日　　時　　令和５年３月１６日（木）　午後２時００分～
○場　　所　　美馬市役所（北館）１０１・１０２会議室
○委　　員　　８人（１人代理）
○市出席者　　藤重次長
○事 務 局　　佐古課長、石田課長補佐、野﨑技術主任

【１．開会】

| | |
|---|---|
| 司会<br>（佐古課長） | 本日は、御多忙中の中にも関わらず御出席いただきまして、誠にありがとうございます。<br>本日の司会を務めさせていただきます、建設課長の佐古でございます。よろしくお願いいたします。<br>それでは定刻となりましたので、只今から「美馬市都市再生整備計画事業評価委員会」の会議を開会いたします。<br>まず始めに、次第２といたしまして、美馬市都市再生整備計画事業評価委員会委員長の近藤より御挨拶を申し上げます。 |

【２～３委員長　美馬市　あいさつ】

| | |
|---|---|
| 委員長<br>（近藤明子） | ～～　委員長あいさつ　　～～ |
| 司会<br>（佐古課長） | ありがとうございました。<br>次に次第３といたしまして、美馬市建設部次長の藤重より御挨拶申し上げます。 |
| 次長<br>（藤重次長） | ～～　建設部次長あいさつ　　～～ |
| 司会<br>（佐古課長） | ありがとうございました。<br>申し訳ございませんが、藤重次長につきましては、この後、他の用務のため、ここで退席をさせていただきます。 |

【４．委員紹介】

| | |
|---|---|
| 司会<br>（佐古課長） | 続きまして、次第４といたしまして、評価委員会の委員の皆様方の御紹介をさせていただきます。<br>なお、敬称は省略させていただきますので、御了承ください。<br><br>近藤　明子　委員様（こんどう　あきこ）<br>渡辺公次郎　委員様（わたなべ　こうじろう）<br>蔭山　泰章　委員様（かげやま　やすあき）<br>河野　圭佑　委員様（かわの　けいすけ）<br>片岡　久議　委員様（かたおか　ひさのり）<br>西前　清美　委員様（にしまえ　きよみ）<br>園原　義正　委員様（そのはら　よしまさ）<br>土井池弘次　委員様（どいけ　こうじ）<br>以上、８人の皆様でございます。よろしくお願いいたします。<br><br>只今御紹介いたしました委員のうち、「河野　圭佑　委員」におかれましては、他の用務との都合により「山田　一弘　様」が御出席なされております。<br><br>続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。<br>都市再生整備計画事業の担当課であります建設課の<br>野崎でございます。<br>同じく石田でございます。<br>そして、私建設課長の佐古でございます。<br>また、事後評価手続きに関する業務委託先であります株式会社フジタ建設コンサルタントの谷でございます、谷野でございます。<br>以上、この５人で事務局を担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。<br><br>さて、本評価委員会は、美馬市都市再生整備計画事業評価委員会設置条例に基づき運営を行うこととしております。<br>条例第６条第３項により「会議は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。」と規定されております。<br>本日の出席委員は、委員総数８名に対しまして、７名御出席いただいており、委員の過半数に達しておりますので、本会議は成立していることを御報告いたします。<br>また、条例第８条より、本日の会議は公開とさせていただきます。<br>なお、委員会の議事録につきましても、美馬市ホームページに |

| | |
|---|---|
| | て公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。 |
| 司会<br>（佐古課長） | それでは、議事に入りたいと思いますが、議事進行につきましては、委員長が務めることとなっております。<br>条例第６条第２項の規定によりまして、近藤委員長に会議の議長をお願いしたいと思います。<br>それでは、近藤委員長、よろしくお願いいたします。 |

【５．議　事】

| | |
|---|---|
| 委員長<br>（近藤明子氏） | それでは、議事次第に沿って議事を進めさせていただきますが、議事に入る前に事務局に確認しておきたいことがあります。<br>それは、本日の会議時間についてです。<br>事務局では、何時までを予定されていますか。 |
| 事務局<br>（佐古課長） | 本日の会議につきましては、委員の皆様に御案内させていただきましたとおり、概ね 1 時間半を予定させていただいております。<br>そうしたことを踏まえまして、遅くとも午後 3 時 30 分までには終了できればと考えております。御負担をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | はいかしこまりました。<br>午後 3 時 30 分までということで、一時間半のなかでしっかりと議論してまいりたいと思います。ぜひ、忌憚のない御意見をたくさん頂きたいと思います。<br>では、次第の中の「5.議事」に入りたいと思います。<br>(1)の「都市再生整備計画事業」について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局<br>（野崎） | ～～　事務局から説明　～～ |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 只今説明がありました内容につきまして、なにか御質問、御意見ございませんでしょうか。<br><br>～～ ※異議等なし ～～<br><br>異議なしとのことですので、次の議題に移りたいと思います。<br><br>(2)の「美馬地区（第２期）都市再生整備計画事業」のなかで、まず１つ目「まちづくりの経緯」につきまして、事務局から説明をお願いします。 |

| | |
|---|---|
| 事務局<br>（野崎） | 〜〜　事務局から説明　〜〜 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 「まちづくりの経緯」につきまして、皆様から御意見・御質問を伺いたいのですが、いかがでしょうか。<br><br>「魅力の向上」「交通利便性の向上」を課題として設定し、その課題に対し、数値目標を設定した上で第 2 期の計画を練られたというような経緯の説明でした。<br>美馬地区の現状等も含め、何か御意見等はございますか。<br><br>〜〜 ※異議等なし 〜〜<br><br>次の議題では具体的な内容の説明となりますので、その際に今の内容についても振り返っていただきながら御意見を伺えたらと思います。<br>それでは続きまして議題(2)の 2 つ目「事後評価手続き」につきまして事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局<br>（野崎） | 〜〜　事務局から説明　〜〜 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 只今「事後評価手続き」につきまして説明がありました。<br>「方法書」「事業の成果の評価」「効果発現要因(総合所見)」につきまして内容等の妥当性も含めまして、御審議いただきたいと思います。<br>目標達成度につきまして「〇」という形で評価されており、理由につきましても説明がありましたが、これは達成できていない、評価方法等の変更や改善が必要、この内容は不適切等、厳しめの御意見も含め、お願いできたらと思います。 |
| 渡辺公次郎氏 | 数値目標で使用したデータですが、指標 1 の観光交流センターの年間入り込み者数はどうやって数えたのでしょうか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 観光交流センターの年間入り込み者数の計測につきまして、「道の駅みまの里」についておりますレジカウントの数に、国土交通省が出しております「全国道路・街路交通情勢調査」の平均乗車人数の推計データ約 1.3 人を参照し、レジカウント数を 1.3 倍した値を今回の計測値、実測値としております。 |
| 渡辺公次郎氏 | 指標 2 の観光客受入寺院とは、願勝寺ですか。どちらの寺院でしょうか。 |

| | |
|---|---|
| 事務局<br>(野崎) | 各寺院、寺町全体での数を計測しております。計測方法ですけども、観光課の方から寺町の方にヒアリングを通して人数を計測しております。 |
| 渡辺公次郎氏 | ヒアリングだけだと説得力がないので、何を根拠にしているのか教えていただけますか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 委員会にも参加していただいております西前さんが、寺町案内人として一日何人案内しているのかというのを目安に計測しております。 |
| 渡辺公次郎氏 | 指標 3 の美馬地区のイベントにつきまして、どういうイベントを計測しているのでしょうか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 美馬地区イベントの参加者数は、主に道の駅の観光交流センターで行われましたイベントの参加者数を用いております。イベントごとに参加者を集計し、年度別の累計を計測値としております。 |
| 渡辺公次郎氏 | 今回のプロジェクトには鍋倉谷川と段の塚穴等、道の駅からやや離れたところの事業も含まれておりますが、今回の市の事業により、段の塚穴や鍋倉谷川に訪れたとの記録はありますか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 鍋倉谷川や段の塚穴で実施した事業によって観光交流センターから移動があったというのは計測していないためわかりません。しかし、観光交流センター内に寺町や段の塚穴についてパンフレットの配布や案内等、美馬市の観光を PR している場所がありますので、少なからずそういう場所に足を運んでいただいたのではと考えております。 |
| 渡辺公次郎氏 | あくまで間接的な効果でしか分からないとは思いますが、鍋倉谷川や段の塚穴にも波及していると考えられるところが分かってもいいのではないかと思います。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 只今の御意見の中で特に指標 2 の寺町の入り込み者数のカウントの仕方の説明が不足しているとの御指摘でありました。<br>寺町案内人の方が案内をした人の数に基づいて実績数として出されているとのことなので、「方法書」指標 2 のデータの計測方法で、「観光交流課とのヒアリングにより数を把握する」と記載しておりますが、「寺町案内人の案内者数にもとづいて把握する」と記載するとより具体的で、根拠としても分かりやすいと思いますので、表記の変更について検討頂けたらと思います。<br>その他、指標 3 の効果発現について、間接的な要因につきましても、あとで整理をしたいと思います。<br>その他、御意見いかがでしょうか。 |
| 片岡久議氏 | 今回の事後評価手続きの数値目標が 3 つ挙がっているのですが、定量評価だけではなくて、定性評価についても事業評価には |

| | |
|---|---|
| | 必要なのではないかと思います。事業の目的として地域住民の生活の質の向上と地域経済の社会の活性化というところが謳われておりますけども、例えば地域のイベントに参加した人数だけではなく、整備をしたことによって住民の満足度がどのくらい上がった等のアンケート調査も評価の項目として必要なのではないでしょうか。<br>　今年度は難しいとは思いますが、定量的な評価だけでなく定性的な評価も含めて、今後評価対象に含めてもよろしいかと思います。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　今重要な御指摘いただいたと思います。数で測るような定量的な評価以外にも、住民がどう思っているか、訪れた方がどう思っているかという定性的な評価も含めて検討してくださいとの御意見でした。<br>　今年度につきましては記載している内容で進めていただいて、報告の際にヒアリングがあればその時には併せて説明し、来年度以降計画を評価する際に計画評価の指標に含めることを検討いただけたらと思います。<br>　宜しいでしょうか。その他いかがでしょうか。 |
| 西前清美氏 | 　評価ではありませんが、その近くに住んでいる人間として非常に感じること、寺町案内人として感じることについて。<br>　コロナの関係もあるのですが、道の駅ができてから全体的にバスツアーとかは減りましたが、道の駅に来た方が１人とか２人で寺町を散策する人数が非常に増えています。<br>　お寺を訪ねたり、防災交流センターでパンフレットをお渡ししたりすることが、肌で感じる実感として非常に多くなりました。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　先程のお話と重なりますけども、定量的に図ること以外にも、その中身がどうなっているか。道の駅から寺町までしっかりと流れてきて、寺町の魅力というのを感じながら観光されている方が増えていると実際に案内されている御視点から御意見頂きました。<br>　この件につきましては道の駅ができたことによる波及効果として質の変化も見られたよという重要なことかと思いますので、資料に明記されることも御検討いただければと思います。<br>　ありがとうございます。その他いかがでしょうか。 |
| 土井池弘次氏 | 　美馬地区のイベント参加者数について、いろんな計画を実施・実行されておりますが、寺町の中で、能舞台など、非常に文化的な、文化継続・継承という立派な行事もされております。また、 |

| | |
|---|---|
| | コロナの前に一回大きな花火大会がございましたが今コロナで中止になっております。<br>　大きな花火大会も今後再開という形になり、遠方の方県外の方も見に来ると思いますが、対象事業の中で花火大会はやっておりませんか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 　コロナ前に行った花火大会以降、美馬地区では花火大会を開催していないです。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　これまでずっと地元に根付いている伝統とか文化を引き継ぎ、コロナが収束に向かっている兆しが見える中で、花火大会のような大規模なイベントについても進めていただきたいとの御意見を頂けたと思います。 |
| 渡辺公次郎氏 | 　「事後評価シート」の中の(3)効果発現要因の整理で、関連事業として郡里廃寺跡整備事業と出てきておりますが、先月設計案を審議したという段階です。<br>　評価として△(指標の改善に貢献しなかった)という評価になるのでしょうか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 　関連事業として郡里廃寺跡整備は必要ですが、指標に対しての貢献度として判定する場合、まだ計画段階であるため貢献度の記入方式を再考いたします。 |
| 渡辺公次郎氏 | 　関連しているということは承知しておりますが、一緒に進んでいると表記ができればと思います。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　関連事業である郡里廃寺跡整備の貢献度につきまして、県と国に確認し、対応いただけたらと思います。<br>　その他はいかがでしょうか。ここはこういう風に書いてあるんだけど、実際もうちょっとこんないい所があるんだよとか、ちょっとこれは違うなという御指摘でも結構です。<br>　あとは「まちの課題の変化」につきましても、事業後の新たな課題も含めて御意見いただけたらと思います。<br>　「まちの課題の変化」で、観光者の状況が変化してきたとの記載がありますので、道の駅からの寺町周辺への観光客数の増加につきましても、併せて記載するとより効果が出ているところを PR できるかと思います。<br>　また、先ほどお話のありました指標 1 の観光入り込み客数の計測につきまして、レジカウント数×1.3 と御説明いただきましたが、控えめな数字となっているように思いますので、別途計測を検討いただければと思います。 |
| 渡辺公次郎氏 | 　今後の話となりますが、様々な会社が携帯端末の位置データで人の数を数える手法を集計に用いております。経済的な問題もありますが。また、free-wi-fi に接続した人を計測するよう |

| | |
|---|---|
| | な手法もあります。歩行者が何時くらいにどれくらい滞在しているかを計測でき、様々なところで使われております。この手法についても、機械が必要ですので経済的な問題もあり、すぐにはできないですが。道の駅であれば、ある一定の時間をかけながらデータを取る仕組みを取り入れることも選択肢の一つとして挙げられます。<br>　また、道の駅や段の塚穴等、施設の整備をすることで観光者が増加するとありますけども、公共交通との連携も大事ではないかと思います。車で来られる人以外に車を持ってない人。例えば海外の方。美馬市のような大都会ではないような地域に、価値を見出される海外の方がかなりたくさんいます。そういった車で来ることが難しい方をある程度サポートするために、整備されつつある拠点を結ぶための小さな公共交通的なもの、グリーンスローモビリティ的なものを用いると、もう少し整備した施設というのが活きてくるのではないかと思います。<br>　ニーズの変化というのは、先程仰られていたように大型バスで来るような観光客だけではなく、今特に外国の方が公共交通機関で来るので、いろんな個人のニーズに合わせたような観光を実現するための一つのポイントがこの観光交流センターであり、それをうまく使いながら全体としての回遊性を上げていくことが考えられます。<br>　郡里廃寺の委員会に出させていただいたときに少しだけ話題に挙がったのですが、観光等、様々なことと関係してきますので、建設課だけや、教育委員会だけではできないような話だと思います。各課が連携しながら進めていただければと思います。<br>　道の駅からどうやって郡里廃寺跡へお客さんを連れて行く等、なかなかこれだという解決策は出ないので。その次のステップだとは思いますが、今後の課題として一緒に考える必要があるかと思います。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　只今の御意見に関しまして事務局から何かございますか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 　道の駅からこれから整備していく郡里廃寺跡とどうつなげていくかということで、建設課や地域学習推進課等、様々な課が個別に事業を実施していくのではなく、市一つで連携して今後いかに観光をつなげていくことを実現していければと思っております。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　交通、情報の前に一つデータの取得につきまして御指摘いただいておりますが、NTT データに代表される携帯端末の位置データですね。美馬市はこのデータ取得方法が使用され始めた際に |

| | |
|---|---|
| | 導入されていますので、そこから継続して今も計測しているかどうかは確かではありませんが、その件につきましても連携しながら使用いただければと思います。<br>その他はいかがでしょうか。宜しいですかね。<br><br>～～ ※異議等なし ～～<br><br>評価として「事後評価手続き」に関する妥当性につきまして、皆様に確認させていただきますが、次の議題でこれまでの議題と併せて判断していただければと思います。<br>評価内容や指標の達成目標、効果発現要因につきましては特段の加筆・修正等はないですが、まちの課題の変化というところで追記する必要があると思います。<br>各指標の集計方法について、特に指標 2 の収集につきましても具体化させて案内者数に基づいている件も追記いただけたらと思います。<br>次は議題(2)の 3 つ目「今後のまちづくり」につきまして事務局から御説明をお願いいたします。 |
| 事務局<br>（野崎） | ～～　事務局から説明　～～ |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 只今都市再生整備事業の「今後のまちづくり」の課題を 4 つあげていただきまして、方向性の考え方につきまして説明いただきました。只今の内容につきまして御質問、御意見ございませんでしょうか。 |
| 片岡久議氏 | 確認ですけども、「今後のまちづくり」というのは建設部建設課の立場からのまちづくりという認識でよろしいですか。<br>今回のまちづくりの課題の中で「オリジナルブランドの開発」や「体験型観光商品の開発」は観光交流課の分野と思いますけどここで議論すべきなのは施設を作る、道路を整備する等、そういう立場の議論なのか、他の所管を含めての議論なのか教えていただけますか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 建設課としてはハードの整備が主体として関われることと考えておりますけども、今回この資料や、事後評価の原案を作る段階で、道の駅の担当課であります農林課や観光課とも協議いたしまして、このような課題と今後の方向性っていうのを整理しておりますので、観光交流課の課題も併せて御指摘していただけたらと思っております。 |
| 片岡久議氏 | 他の所管も含めて幅広く今後のまちづくりの課題について議 |

| | |
|---|---|
| | 論するということで良いですね。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 美馬地区第 2 期都市再生整備事業に関わる、特に観光の面で関わる今後のまちづくりの対応が挙げられていたと思います。<br>その中でも先程の御指摘にもありますように、横串を通して連携を取りながら効率的に進めていただくというようなことが必要で、各課連携して取り組む内容が示されていると思います。 |
| 片岡久議氏 | 各課が連携しての位置づけということで挙げていただいた課題ですが、各観光地のつながりが希薄というのは美馬地区だけではなくて脇町や穴吹、木屋平等様々な地区との連携、場合によっては高松とか徳島県の他の地域ともつながりという幅広い分野での観光地のつながりを確保していかないと美馬地区の発展につながりにくいと思います。<br>また、滞在時間を増やすための考え方として滞在型観光商品の開発と書かれておりますが、滞在時間を増やすためには宿泊施設や飲食施設を美馬地区に作る必要があると思います。<br>今脇町には宿泊施設が出来つつありますけども、美馬地区の滞在時間を増やすのであれば、美馬地区にも飲食とか宿泊施設作らないと、なかなか観光消費額が増えないと思うので、そういったところも検討していく必要があるのかなと思いました。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 只今の点、美馬市内外とのつながりの強化とか観光地間のつながりの強化っていうところも併せて明記し、取り組んでいただくということ。<br>あと来てほしいなぁ、泊まってほしいなぁだけでは何にもならないので、受け入れ態勢の整備をしてくださいという重要なコメントを頂きましたので、御検討いただきたいと思います。 |
| 西前清美氏 | 寺町案内人をする中で、地域で困っていることを 2 点言いたいと思います。<br>1点は道の駅から郡里廃寺の経路が県道12号線になりますが、非常に危険な地域です。そこをどうにかしてほしいという要望がまちづくりをするときに出ており、文化財の関係もあってなかなかできなかったという経緯もありますが。先日願勝寺から郡里廃寺まで実際に観光客を案内する機会がありましたが、本来は道の駅で駐車していたため、直接郡里廃寺に訪れる方が近いのですが、非常に危険であるため願勝寺を経由して案内したといったことがありました。<br>2点目は、寺町も段の塚穴もトイレがない。特に段の塚穴は、大型バスを市民グラウンドに停め、そこから案内しているのですが、徒歩で往復一時間かかります。市民グラウンドにはトイレはありますが、段の塚穴ではトイレがないため、非常に案内しに |

| | |
|---|---|
| | くい所があります。特に老齢の方は苦しいと感じます。<br>　もう 1 点付け加えると国道 438 号から道の駅に入る道と併せて駐車場ができましたが、その駐車場と以前からあった駐車場がつながっておりません。せっかくいらっしゃった方、特に障がい者の方は、国道 438 号から入ると道の駅の正面で駐車できません。そういった不便な状態があるので、改善してほしいと感じております。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　只今の御意見に対しまして事務局から何かコメントございますか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 　国道 438 号の駐車場と以前からある道の駅の駐車場がつながっていないと言う御意見ですが、現在道の駅を担当しております農林課と協議中です。開けるとなると道の駅内に交差点が生まれてしまうということがありまして、安全上今のまま開放することは危険でありますので、柵を設けているような現状になっています。<br>　地域住民の方々から利便性が悪いっていう御意見があると思いますが、どうにか解決できるように今後も考えていきたいと思っております。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　危険性や利便性が悪い等、改善の余地が大いにあるところは農林課や警察も含めて、御議論いただきましていち早く解消していただければと思います。<br>　どちらにしても、観光者とか利用者目線の整理を意識し、継続的に検討をしていただければと思います。<br>　ありがとうございます。その他いかがでしょうか。<br>　たくさんの御意見を頂きました。そのなかで色々と改善すべき点はいくつかありました。先程申しあげたとおりです。その他頂いた御意見につきましても今後しっかりとまちづくりの中で活かしていただくというようなところかと思います。<br>　ここで今の議題 2 のところで特に経緯についてでは、事後評価手続き、今後のまちづくりにつきまして、事務局でも今整理している内容で特に問題がない、適切に行われていると判断してもよろしいでしょうか。<br><br>～～ ※異議等なし ～～<br><br>　異議ございませんか。宜しいですね。ありがとうございます。<br>　そうしましたら今回整理していただいております都市整備計画事業につきましては、事後評価手続き、また今後のまちづくり双方ともに特に問題がなく適正に検討されているとこの委員会 |

| | |
|---|---|
| | では判断いたします。<br>　御意見ございました内容につきましては先程申し上げました通り、今後にしっかりと活かしていただき、御指摘のあった軽微の修正が必要なところにつきましては加筆してくださいということにしたいと思います。<br>　続きまして最後の「議題 3 今後のスケジュール」につきまして事務局から御説明お願いいたします。 |
| 事務局<br>（野崎） | 〜〜　事務局から説明　〜〜 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　ありがとうございます。今後のスケジュール宜しいでしょうか。<br><br>〜〜 ※異議等なし 〜〜<br><br>　はいありがとうございます。今回の委員会やその他パブコメもあると思いますけれども、事務局は市民への説明責任を果たしていただいて、わかりやすく御説明いただくということが重要かと思いますので、気を付けていただきながら事業を進めていただけたらと思います。<br><br>　本日予定しておりました内容につきましては議事 1〜3 全て終了いたしましたので、その内容につきまして言い残したということがございましたら、御意見頂きたいと思いますがいかがでしょうか。 |
| 土井池弘次氏 | 　意見ではありませんが、この交付金の補助金はいくらになるのでしょうか。 |
| 事務局<br>(野崎) | 　今回の第 2 期計画を実施するにあたる交付金につきまして、国からは事業費に対して 4 割、40%を限度に国の交付金をもらえることとなっております。<br>　今回の計画事業費が 288 百万円に対しまして、その 4 割にあたります 115 百万円が交付限度額になっております。<br>以上です。 |
| 土井池弘次氏 | ありがとうございます。 |
| 委員長<br>（近藤明子氏） | 　その他宜しいでしょうか。ありがとうございます。<br>　そうしましたら、議事、議題すべて終了いたしましたので、事務局に司会をお返ししたいと思います。ありがとうございまし |

| | |
|---|---|
| | た。 |

【６．閉会】

| | |
|---|---|
| 司会<br>（佐古課長） | ありがとうございました。近藤委員長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり、御審議をいただきまして誠にありがとうございました。<br>以上をもちまして、本日の議事日程はすべて終了いたしました。<br>これをもちまして、都市再生整備計画評価委員会を閉会させていただきます。<br>本当にどうもありがとうございました。 |